

1 現地検査

検査項目	検査内容	確認	審査
屋外検査	メーターボックスの設置状況(位置・沈下・傾きの確認・検針上不適でないこと)		
	水道メーターの取付状況(逆付け・片寄りがなく、交換に支障ないこと)		
	埋設深さの確認(所定の埋設深が確保されていること)		
	止水栓の設置状況(傾きがなく、操作に支障ないこと)		
配管・給水用具検査	給水管・給水用具が構造・材質基準に適合していること(性能基準適合品)		
	延長・給水用具等の位置・個数が竣工図面と整合すること		
	配管の口径・経路構造が適切であること		
	水の汚染・破壊・浸食・凍結・結露等を防止するための適切な措置の実施		
	逆流防止のための給水用具の設置、吐水口空間の確保がなされていること		
	配水管の水圧に影響を及ぼす恐れのあるポンプに直接連結されていないこと		
	クロスコネクションがなされていないこと		
	接合状況の確認(適切な接合が行われていること)		
耐圧試験 水質検査	各給水用具からの通水状況の確認(メーター通過確認・吐水量・動作確認)		
	1.75MPaまで加圧し、1分間以上保持すること		
	臭気・味・色・濁りに異常がないこと		
	遊離残留塩素の検出確認(0.1mg/l以上)		

2 占用申請を伴う工事(国道、府道、市道、法定外公共物、河川、等)

検査項目	検査内容	確認	審査
穿孔工事 現地検査	★分水栓から止水栓までの水圧試験(1.75MPaまで加圧し、1分間以上保持すること)		
	★道路埋戻材の転圧は3段転圧とする		
	★仮復旧の実施(直接本復旧は不可)		
	★配管状況・埋設深度が適正であること		
	★穿孔後のコアが回収されていること		
	★分岐位置及び設置位置、配管寸法、深度、掘削面積を実測し記録してあること		
	★穿孔・密着コア挿入の材料・機材が適正であり、正常に施工されていること		
完了検査	在来路面と復旧路面に段差が生じていないか		
	★本復旧の実施(面積・厚みが確認できること)		
	工事区域の復旧・清掃が適切であること		
	★本復旧後の写真を2部提出(完了届用)		

3 受水槽

検査項目	検査内容	確認	審査
受水槽	吐水口と越流面との距離の確認		
	簡易専用水道設置届の提出(受水槽容量が10m ³ を超える場合)		

指摘事項			

確認は「○」印によりチェックする。評定に該当しない場合は「／」を記入する。不適正な場合、該当項目に「×」印を記入する。
「★」は工事完了後に写真提出する。

上記のとおり給水装置工事施工状況(現地検査)を確認しました。

現地検査

年 月 日

年 月 日

給水装置工事主任技術者名

上水道課

印

印

指定給水装置工事事業者名